

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 9 日

仕事の内容	成人保健事業（生活習慣病予防教室・糖尿病予防教室・いきいきヘルシー教室）			
担当部署・課長名	健康	課	保健	係 課長名 志村明子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 - 1	-
【施策名】 保健・医療の充実	総合計画書 (ページ)	47	

予算名	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 1 保健衛生総務費	事業 4 成人保健事業費
-----	---------	-----------	-------------	--------------

1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 おおむね40歳から64歳までの市民	① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 40歳～64歳までの市民 年齢別人口統計表 平成30年4月1日現在の対象年齢人口
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 生活習慣病（生活習慣病予防教室）、糖尿病（糖尿病予防教室）、肥満予防（いきいきヘルシー教室）についての正しい知識を取得し、生活習慣病等の予防や健康の保持増進を自ら取り組めるようにする。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 教室参加者数
	③ そのために何をしましたか。 教室のテーマ、内容の選定 医師、運動指導士と調整 広報、ポスターチラシ作成 勧奨通知送付 健康機器の借用（国保連） 教室開催、アンケート集計	③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 生活習慣病予防教室、糖尿病予防教室：3日間を2クール…合計12日 いきいきヘルシー教室：2日間を2クール…合計4日

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	29,075	29,237	29,381	
	成果指標	②の数値	人	延べ121	延べ157	延べ137	
	目 標	②の目標値	人	320	320	320	
		目標値設定の考え方	1回の教室の定員が20人で、延べ16回の実施で320人				
活動指標	③の数値	回	16	16	16		

3 経費	事業費（実績）		円	80,790,640	81,506,140	77,185,748	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）
	財源	一般財源	円	68,615,640	72,465,636	64,814,287	
		特定財源	円	12,175,000	9,040,504	12,371,461	
		（うち受益者負担）	円	0	0	0	
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	人		1.2	1.5	
		所要人数（再任用）	人				
		職員人件費（再任用以外）	円		9,903,600	12,366,000	
事業費＋人件費		円	80,790,640	91,409,740	89,551,748		

この仕事における市の裁量	市の裁量は大きい
--------------	----------

4 環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。 老人保健法（昭和58年施行）の保健事業の一つである健康教育として、生活習慣病の予防、その他の健康に関する事項について、正しい知識の普及を図るために昭和60年頃から事業を開始した。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 上記の「老人保健法」は、平成20年「高齢者の医療の確保に関する法律」に内容を改正、改称され、保健事業として行ってきた健康教育等は、平成14年に制定された「健康増進法」第17条に基づく事業として位置づけられ、生活習慣病の予防その他の健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより自らの健康は自らが守るという認識と自覚を高め、健康の保持増進を図るために引き続き実施している。

仕 事 の 内 容	成人保健事業（生活習慣病予防教室・糖尿病予防教室・いきいき♥教室）			
担当部署・課長名	健康	課	保健	係 課長名 志村明子

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 教室参加者の意識の変化や行動変容の内容 ・自分の体に関心を持つようになった。 ・食事、運動に意識を向け気をつけるようになった。 ・摂取カロリーを少なくしている。 ・体重管理と食事内容が変化した。 ・ウォーキングを生活に取り入れたい。 ・体操を自宅でも行いたい。 ・教室の内容に変化がないという意見もあり。
---------------------------------	--

6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	<table border="1"> <tr> <td>取組みは無い</td> <td>取組手法</td> </tr> </table>	取組みは無い	取組手法	<table border="1"> <tr> <td>【取組手法の種類】</td> </tr> <tr> <td>①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）</td> </tr> </table>	【取組手法の種類】
取組みは無い	取組手法				
【取組手法の種類】					
①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）					
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容  参加者は、他の健康教室に参加する方も多く、リピーターも多い。年齢層も比較的高い。（60～70歳代が中心）
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 ・前年度の若年健康診査で血圧や血糖値が高い方に教室案内を送付したが、申し込みはなかった。 ・前期教室で、後期に向けた目標の立案をした。後期の継続参加者は4名 ・後期分は保育付で教室を実施し、その他母子保健事業で対象者に参加を呼びかけた。
	(3)(2)を踏まえた今後の課題  ・参加者が少なく、新規の参加者が増えない。 ・参加者の年齢が、65歳以上の者が70%を越えている。

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）  ・教室の周知方法の検討 ・事業内容（教室プログラムや日数）の見直しを行う。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ＜生活習慣病予防教室＞ ・健康診査（若年者対象）で高血圧の者へ教室勧奨を送付 ・計測機器を用いた測定回を設定し、他日程の参加のきっかけとする。 ・前期教室を保育付で実施 ＜糖尿病予防教室＞ ・成人健康診査の案内等にチラシを同封して周知する。 ・成人健康診査の結果、血糖値が高い方や、妊娠糖尿病の方等に教室参加勧奨。 ・前期教室を保育付とする。 ＜いきいき♥教室＞ ・子育て広場などでポスターを掲示する。母子保健事業で参加を呼びかける。 ・前期教室を保育付とする。			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。 <table border="1"> <tr> <td>成果</td> <td>成果を向上させる。</td> <td>経費</td> <td>仕事の経費は維持する。</td> </tr> </table>	成果	成果を向上させる。	経費
成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は維持する。	